

夏季休業を迎えるにあたって

校長 萩谷 英明

皆さん、こんにちは。校長の萩谷です。

明日から夏季休業となります。ひと月余りまとまって余裕のある時間を過ごすことができると思います。ぜひ、この期間を有意義に過ごしてもらいたいと思います。

人間は自分の言動を後悔することが多くあります。どのように行動しても、「たら・れば」はあり、「こうしていたら……、ああしていれば……」と、よりよい状況になっていたかもしれない可能性を考えてしまいます。しかし、できれば、後悔はなるべく小さくしたいものです。

そのためには、その時、その場でどうすることが最善か、または、その時、その場でしかできないことは何かということをよく考えることが必要です。

高校3年間の夏季休業は3回だけです。この3回それぞれの期間にしかできないこと、この期間にやらなければならないことにじっくり取り組んでほしいと思います。夏季休業明けに、「今年の夏はこんなことを成し遂げた」という達成感を感じられるようにしてほしいと思います。

コロナ禍で様々な制約もありますが、社会ではコロナ禍を逆手にとったビジネスも数多く展開されています。

例えば、アメリカのファストフードチェーンでは、自社のCMソングの楽譜を公開して、コンサートやイベントが中止となり仕事が減ってしまったミュージシャンたちに演奏してもらい、その動画をSNSに投稿してもらって出演料を支払うという事業を行い、ミュージシャンを支援して自社のイメージアップにつなげたという事例もあります。

皆さんも様々な制約を逆手にとって、コロナ禍だからこそできることを見つけて休業中に取り組んでみてはどうでしょうか。それは、きっと大きな達成感をもたらし、素晴らしい思い出にもなると思います。

では、健康に留意して夏季休業期間を有効に活用してください。